

# 國際主要事項



# 国際主要事項

2008年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総理大臣	2007年9月26日～ 福田康夫									2008年9月24日～ 麻生太郎		
外務大臣	2007年9月26日～ 高村正彦									2008年9月24日～ 中曽根弘文		

2008年1月1日～12月31日（日付は現地時間）

日本関係

国際関係

## 1月

		1日	キプロスとマルタでユーロ導入開始
		2日	スリランカ政府が反政府武装組織「タミル・イーラム解放の虎」との停戦合意からの脱退を表明
4日	高村外務大臣がタンザニアを訪問（～6日）		
		5日	グルジア大統領選挙が実施され、親米のサーカシヴィリ前大統領が過半数を獲得して再選
11日	補給支援特別措置法が成立		
16日	高村外務大臣が「日・メコン外相会議」を主催・出席（東京）		
26日	福田総理大臣が世界経済フォーラム年次総会（ダボス会議）に出席、特別講演で「クールアース推進構想」を発表（スイス・ダボス）		
		27日	スハルト・インドネシア元大統領が死去
30日	兵庫、千葉両県で3件の中国製冷凍ギョウザによる中毒事案が発生していたことが発覚		
31日	森政府代表が第10回アフリカ連合（AU）総会に出席（エチオピア・アディスアベバ）		

## 2月

5日	アフガニスタンに関する共同調整モニタリングボード（JCMB）政務局長会合開催（東京）		
9日	高村外務大臣が第44回ミュンヘン安全保障会議に出席（～10日、ドイツ・ミュンヘン）		

日本関係	国際関係
<p>25日 福田総理大臣が李明博<sup>イ・ミョンバク</sup>韓国大統領とソウルで初会談、首脳同士が相互訪問する「シャトル首脳外交」を実施することで一致</p>	<p>17日 コソボがセルビアからの独立を宣言</p> <p>18日 パキスタン総選挙で野党パキスタン人民党が勝利</p> <p>19日 フィデル・カストロ・キューバ国家評議会議長が議長職を辞す意向を表明、23日にラウル・カストロ・キューバ国家評議会議長が就任</p> <p>22日 国際原子力機関（IAEA）は、イランが累次の国連安保理決議に反し、ウラン濃縮活動を停止していない旨を明記した事務局長報告を発出（5月、9月、11月にも同旨の報告を発出）</p> <p>25日 韓国大統領に李明博<sup>イ・ミョンバク</sup>氏が就任</p>

## 3月

<p>11日 国際宇宙ステーション日本実験棟「きぼう」船内保管室をスペースシャトル「エンデバー号」で打ち上げ（土井隆雄宇宙飛行士搭乗）（米国・ケネディ宇宙センター）</p> <p>18日 日本政府がコソボの独立を承認</p> <p>19日 ドラえもんがアニメ文化大使に就任</p>	<p>3日 国連安保理がウラン濃縮活動等の停止を求めてイランに対する追加的な制裁措置を定める決議第1803号を採択</p> <p>14日 中国チベット自治区のラサで、市民と当局が衝突、暴動は自治区全域及び周辺の省のチベット族居住地に拡大、多数の死傷者、逮捕者を出し国際社会の批判を浴びる</p> <p>E U首脳会議にて「地中海連合」の設立を承認</p> <p>15日 中国全国人民代表大会が国家主席に胡錦濤<sup>胡锦涛</sup>氏を再選</p>
--	--

## 日本関係

20日 高村外務大臣がTICAD IV閣僚級準備会議に出席(～21日、ガボン・リーブルビル)

## 国際関係

25日 ギラーニ・パキスタン人民党副総裁がパキスタン新首相に就任、ムシャラフ大統領との対決姿勢を強める

30日 EU27か国と米国との間で相互の航空路線や便数の決定を自由化する「オープンスカイ協定」が発効

## 4月

4日 OECD/DAC(開発援助委員会)が2007年の政府開発援助(ODA)実績を発表、日本は35年ぶりに世界第5位へ順位を下げる

5日 G8開発大臣会合開催(～6日、東京)

7日 第10回アフリカ・パートナーシップ・フォーラムを東京で開催(～8日)

12日 高村外務大臣がロシアを訪問(～14日)

14日 日本初複数国間の経済連携協定(EPA)である日・ASEAN包括的経済連携協定(AJCEP)への署名が完了

20日 <sup>イミョンバク</sup>李明博韓国大統領が訪日(～21日)、「成熟したパートナーシップ関係」を構築していくこと等を確認した「日韓共同プレス発表」を发出(21日)

21日 アデン湾で日本企業が所有する原油タンカー「TAKAYAMA」(日本船籍)が海賊に襲撃される

25日 福田総理大臣がロシアを非公式訪問(～26日)

3日 NATOブカレスト首脳会合で、クロアチア、アルバニアへの新規加盟招請を決定(ルーマニア・ブカレスト)

6日 米露首脳会談で、「戦略的枠組宣言」採択(ロシア・ソチ)

13日 イタリアで総選挙が行われ(～14日)、ベルルスコーニ前首相率いる中道右派連合が約2年ぶりに政権奪回

## 日本関係

## 国際関係

## 5月

1日 在日米軍駐留費負担特別協定が発効

2日 高村外務大臣がパキスタンを訪問（～4日）

4日 高村外務大臣がアフガニスタンを訪問

6日 胡錦濤<sup>こきんとう</sup>中国国家主席が訪日（～10日）

7日 イエメン中部マアリブ州で日本人観光客2名が誘拐され、翌日解放

16日 中国の四川省大地震災害援助のため、日本政府の国際緊急援助隊救助チームが四川省に到着、日本政府の援助隊が中国で救助活動に当たるのは初めて

23日 福田総理大臣が世界エイズ・結核・マラリア対策基金に当面5.6億米ドルを拠出すると表明

28日 横浜で「第4回アフリカ開発会議」（TICAD IV）を開催（～30日）

2日 ミャンマーを大型サイクロンが直撃、死者・不明者は計13万人超、同国で過去最大規模の自然災害

7日 ロシアでメドヴェージェフ大統領就任、プーチン前大統領は首相に就任（8日）

12日 中国四川省でマグニチュード8.0の大地震が発生（死者約7万人、負傷者約37万人、行方不明者約1.8万人）

20日 台湾総統に国民党の馬英九<sup>ぼえいきゅう</sup>氏が就任

28日 ネパール憲法制定議会在建国以来240年続いた王制を廃止し、連邦民主共和制への移行を宣言

30日 「オスロ・プロセス」の会議で「クラスター弾に関する条約」が参加111か国の全会一致により採択（アイルランド・ダブリン）

31日 国際宇宙ステーション日本実験棟「きぼう」船内実験室をスペースシャトル「ディスカバリー号」で打ち上げ（星出彰彦宇宙飛行士が搭乗）（米国・ケネディ宇宙センター）

## 6月

1日 福田総理大臣がドイツ、英国、イタリアを訪問（～5日）、イタリアでは国連食糧農業機関（FAO）主催「世界の食料安全保障に関するハイレベル会合」に出席（3日）

## 日本関係

- 9日 福田総理大臣が日本の地球温暖化対策（「低炭素社会・日本」をめざして）を発表
- 11日 日朝実務者協議開催（～12日、北京）
- 12日 高村外務大臣がアフガニスタン支援国際会合に出席（パリ）
- 14日 日中韓外相会議開催（東京）
- イラン南東部で前年10月から拘束されていた日本人旅行者が無事解放
- 17日 皇太子殿下がブラジルを御訪問（～25日）
- 18日 日中両政府が東シナ海ガス田の共同開発等で合意
- 26日 G8京都外相会合開催（～27日）
- 27日 第3回日米豪閣僚級戦略的対話開催（京都）
- 30日 福田総理大臣が<sup>バンギムン</sup>潘基文国連事務総長と会談（東京）、国連スーダン・ミッション（UNMIS）司令部に自衛隊員を派遣する方針を表明

## 国際関係

- 2日 国連安保理が、ソマリア沖の海賊対策に関する決議第1816号を全会一致で採択
- 3日 イタリアで世界的な食料価格の高騰問題を話し合うFAO主催「世界の食料安全保障に関するハイレベル会合」が開幕（～5日）
- 13日 アイルランドの国民投票で「リスボン条約」批准が否決される
- 19日 イスラエルとハマスがガザ地区における6か月間の停戦に合意
- 22日 サウジアラビア主催「石油産消国会議」がジッダにて緊急開催
- 26日 北朝鮮が核計画の申告書を六者会合の議長国である中国に提出、米国が北朝鮮に対するテロ支援国家指定解除の意図を議会に通告
- 27日 ジンバブエ大統領選決選投票でムガベ大統領が当選、周辺諸国の投票延期の要請を無視しての選挙で国際的孤立深まる

## 日本関係

## 国際関係

## 7月

1日 日・インドネシア経済連携協定 (EPA) 発効

2日 「平和と繁栄の回廊」構想第3回4者協議閣僚級会合開催 (東京)

7日 G8北海道洞爺湖サミット開催 (~9日、北海道洞爺湖)

9日 主要経済国首脳会合開催 (北海道洞爺湖)

「核不拡散・核軍縮に関する国際委員会」立ち上げに日豪首脳間で合意

ハーパー・カナダ首相がG8北海道洞爺湖サミット出席 (7日~9日) 後、公賓として滞在 (~10日)

10日 第6回六者会合に関する首席代表者会合 (~12日、北京)

16日 皇太子殿下がスペインを御訪問 (~22日)

21日 高村外務大臣が第15回ASEAN地域フォーラム (ARF) 閣僚会合 (24日) 等のASEAN関連外相会議に出席 (~25日、シンガポール)

1日 モンゴルで総選挙結果をめぐり野党支持者らがウランバートルの与党本部を襲撃、エンフバヤル大統領が非常事態を宣言

8日 米国とチェコがミサイル防衛施設をチェコ国内に設置する協定に調印 (チェコ・プラハ)

11日 原油価格 (WTI、米国産標準油種) が史上最高値の1バレル=147.27米ドルまで上昇

13日 米国政府と連邦準備制度理事会 (FRB) が政府系住宅金融大手2社に対する緊急支援声明を発表

19日 イランの核問題に関し、ソラナEU・CFSP上級代表及びEU3 (英・仏・独) +3 (米・中・露) の政治局長とジャリリ・イラン国家安全保障最高評議会書記が会談 (米国側代表が初出席)

中露が両国間の東部国境に関する追加議定書に調印、第二次大戦後から問題となっていた両国の国境線が正式画定

## 日本関係

- 25日 高村外務大臣がベトナムを訪問
- 31日 皇太子殿下がトンガを御訪問（～8月2日）
- 日・カンボジア投資協定発効
- 日・ブルネイ経済連携協定（EPA）発効

## 国際関係

- 29日 WTOドーハ・ラウンド交渉の閣僚会合が決裂

## 8月

- 1日 IAEA特別理事会において印・IAEA保障措置協定案が承認
- 2日 福田改造内閣が発足
- 3日 日・ラオス投資協定発効
- 高村外務大臣がインドを訪問（～5日）
- 6日 モーリタニアでクーデター発生、軍部が実権を掌握
- 7日 南オセチアでグルジア軍と南オセチア軍が戦闘状態に突入、その後、ロシア軍が介入（8日）、アブハジアにも戦線拡大
- 8日 福田総理大臣が中国を訪問（～9日）し、胡錦濤国家主席、温家宝国务院総理と会談、北京オリンピック開会式に出席
- 8日 北京オリンピックが開幕、史上最多の204か国・地域が参加
- 10日 中国の新疆ウイグル自治区で武装グループが公安施設などを襲撃
- 11日 日朝実務者協議開催（～12日、中国・瀋陽）
- 12日 ロシアが対グルジア軍事作戦終了を決定
- 14日 シリアとレバノンが外交関係の開設を発表
- 17日 高村外務大臣が中国を訪問（～18日）
- 18日 ムシャラフ・パキスタン大統領が辞任
- 20日 ポーランドと米国が米国のミサイル防衛施設をポーランド国内に建設する協定に署名

## 日本関係

- 26日 アフガニスタン東部ジャララバード近郊でNGO所属の日本人が拉致され、27日遺体で発見
- 27日 宇宙基本法施行、宇宙開発戦略本部設置

## 国際関係

- 26日 ロシアが南オセチアとアブハジアの独立を承認
- 27日 米民主党党大会でオバマ上院議員が同党大統領候補に正式指名される
- 29日 グルジアがロシアとの国交を断絶すると発表

## 9月

- |    |                 |     |  |
|----|-----------------|-----|--|
| 1日 | 福田総理大臣が辞意を表明    | 2日  | 第3回援助効果向上に関するハイレベル会合（～4日、ガーナ・アクラ）                                      |
| 2日 | 第2回国際漫画賞受賞式（東京） | 3日  | 米共和党全国大会でマケイン上院議員が同党大統領候補に正式指名される                                      |
|    |                 | 6日  | 原子力供給国グループ（NSG）第2回臨時総会において「インドとの民生用原子力協力に関する声明」を採択                     |
|    |                 | 11日 | 国連がミレニアム開発目標（MDGs）に関する報告書を発表、2015年までに絶対的貧困の半減にめどとの見通しを示す               |
|    |                 | 15日 | 米証券大手リーマン・ブラザーズが経営破綻<br><br>ジンバブエでムガベ大統領と野党のチャングライ議長らが新政府樹立にかかる合意文書に署名 |
|    |                 |     | 国連総会が、第62回会期の最終日に、安保理改革に関する政府間交渉を2009年2月28日までに開始することを決定                |
|    |                 | 16日 | 第63回国連総会開会（ニューヨーク）   |
|    |                 | 20日 | パキスタン・イスラマバードのマリオットホテルにおいて自爆テロが発生、53人が死亡                               |

日本関係

- 22日 エチオピア東部でNGO所属の日本人がオランダ人同僚と共に誘拐されソマリアに連行される（その後2009年1月7日に解放）
- 森政府代表が「アフリカ開発ニーズに関するハイレベル会合」に出席（ニューヨーク）
- 24日 麻生太郎内閣が発足
- 25日 麻生総理大臣が第63回国連総会に出席（ニューヨーク）
- 中曽根外務大臣が第63回国連総会、MDGsハイレベル会合に出席（ニューヨーク）
- 米国原子力空母ジョージ・ワシントンが神奈川県の新潟県横須賀基地に入港
- 26日 南アフリカ共和国で、出張中の日本人が誘拐される（28日に解放）

国際関係

- 22日 国連安保理が海上阻止の要素を含む「不朽の自由」作戦（OEF）等に対する各国の貢献に対する評価を盛り込んだ国際治安支援部隊（ISAF）の権限延長に関する決議第1833号を全会一致で採択
- 27日 国連安保理が、イランの核問題に関し、イランに対する過去の関連安保理決議等の厳守を呼び掛ける決議第1835号を全会一致で採択

10月

- 1日 新JICA発足（JICAが旧JBIC海外経済協力部門を承継）
- 3日 国連スーダン・ミッション（UNMIS）司令部への自衛隊員の派遣を閣議決定

- 3日 米国下院本会議が緊急経済安定化法案の修正案を可決、法案成立
- 7日 国連安保理が、ソマリア沖の海賊対策に関する決議1838号を全会一致で採択
- 10日 パキスタン北西部オラクザイ地区で自爆テロ、2007年10月のブットー元首相暗殺未遂事件以来同国で最大規模のテロ
- 米印民生用原子力協力協定署名
- 11日 米国が北朝鮮に対するテロ支援国家指定を解除

日本関係

国際関係

- 17日 国連総会において2009年からの安保理非常任理事国に日本、ウガンダ、メキシコ、トルコ、オーストリアの5か国を選出(任期：2009年～2010年)
- 18日 中曽根外務大臣と橋本外務副大臣が拡大中東・北アフリカ (BMENA) 構想「未来のためのフォーラム」第5回閣僚級会合に出席 (～19日、アラブ首長国連邦・アブダビ)
- 24日 麻生総理大臣がアジア欧州会合第7回首脳会合 (ASEM7) に出席 (～25日、北京)
- 28日 日経平均株価がバブル経済崩壊後の最安値を更新、一時7,000円を割って1982年10月以来の安値水準に落ち込み

- 26日 コンゴ民主共和国東部で反政府勢力がゴマに向けて侵攻、人道危機が発生
- 28日 ロシアと中国が東シベリアの原油を太平洋岸に運ぶ石油パイプラインの中国向け支線建設で一致

11月

- 14日 麻生総理大臣、中川財務・金融担当大臣が金融・世界経済に関する首脳会合に出席 (～15日、ワシントンDC)
- ケニア沖で日本人船長が乗る中国漁船「天裕8号」が海賊に乘っ取られる (その後、2009年2月8日に解放)
- 19日 中曽根外務大臣がアジア太平洋経済協力 (APEC) 閣僚会議に出席 (～20日、ペルー・リマ)、コロンビアを訪問 (～21日)

- 4日 米国大統領選挙で民主党のオバマ上院議員が共和党のマケイン上院議員を大差で破り当選
- 中国の陳雲林<sup>ちんうんりん</sup>海峽兩岸関係協会会長が初めて台湾を訪問し江丙坤<sup>かうへいこん</sup>海峽交流基金会董事長と兩岸実務協議を行い合意文書に調印
- 7日 コンゴ民主共和国東部情勢に関するアフリカ連合 (AU) 主催ナイロビ首脳会議及び南部アフリカ開発共同体 (SADC) 緊急首脳会議を開催 (ケニア・ナイロビ)

日本関係

- 21日 麻生総理大臣がアジア太平洋経済協力 (APEC) 首脳会議に出席、ペルーを公式訪問 (～23日、ペルー・リマ)
- 26日 インドのムンバイにおいて連続テロ事件が発生、日本人1名を含む163名が死亡
- 28日 イラクでの航空自衛隊による輸送支援活動の年内の終了を決定

国際関係

- 21日 第63回国連総会第3委員会<sup>らち</sup>で拉致問題を  
含む北朝鮮人権状況決議を採択
- 25日 タイの反政府団体によるデモ参加者がバ  
ンコク国際空港を占拠 (～12月3日)

12月

- 1日 日・ASEAN包括的経済連携協定(AJCEP)が日本とシンガポール、ラオス、ベトナム及びミャンマーとの間で発効
- 3日 中曽根外務大臣が「クラスター弾に関する条約」の署名式に出席し、条約に署名 (ノルウェー・オスロ)
- 8日 第6回六者会合に関する首席代表者会合 (～11日、北京)
- 10日 ノーベル賞授賞式で日本人4名が受賞 (うち1名は米国籍)
- 11日 日・フィリピン経済連携協定(EPA)発効
- 12日 補給支援特別措置法の改正法が成立、1年間の期限延長を決定
- 13日 日中韓首脳会議 (第1回日中韓サミット) 開催 (福岡県太宰府市)

- 1日 気候変動枠組条約第14回締約国会議 (COP14) 開催 (～12日、ポーランド・ポズナン)
  - 2日 タイで憲法裁判所が2007年12月の選挙違反により与党3党に解党を命じる判決、ソムチャイ政権崩壊
- 国連安保理が、ソマリア沖の海賊対策に関する決議第1846号を全会一致で採択
- 第63回国連総会において、日本提出の核軍縮決議が圧倒的多数で採択

- 15日 ASEAN憲章発効

日本関係	国際関係
<p>18日 第2回日豪外務・防衛閣僚協議開催（東京）</p>	<p>16日 米国連邦準備制度理事会（FRB）がフェデラルファンド（FF）金利の誘導目標を0%～0.25%へと引き下げ、実質ゼロ金利に</p> <p>国連安保理が、ソマリア沖の海賊対策に関する決議第1851号を全会一致で採択</p> <p>18日 第63回国連総会本会議で拉致問題を含む北朝鮮人権状況決議を採択</p> <p>19日 米国政府がゼネラル・モーターズ（GM）とクライスラーに総額174億米ドルのつなぎ融資の実施を発表</p> <p>22日 タイ首相に野党第一党のアピシット民主党党首が選出され、新政権が発足</p> <p>コンテ・ギニア大統領が死去、翌日クーデター発生、軍部が政権を掌握</p>
<p>25日 日・ベトナム経済連携協定(EPA)に署名（東京）</p>	<p>27日 イスラエルがパレスチナ自治区ガザへの空爆を開始</p> <p>31日 中国の胡錦濤<sup>こきんとう</sup>国家主席が「台湾同胞へ告ぐ書」発表30周年記念座談会において「重要講話」（6項目）を発表</p> <p>メドヴェージェフ・ロシア大統領が大統領及び国家院の任期延長のための憲法修正案に署名</p>

